



かけはし

第 5 号

平成28年 9月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

光り輝く2学期をめざして

校長 川崎 直人

暑かった夏休みが終わり、25日間ぶりに学校に子どもたちの笑顔と歓声が溢れました。元気いっぱいの子どもたちを見ていると、心も体もたくましくなったことを感じています。また、夏休み中の大きな事故やけがもなく、健康で安全な生活を送ってくれたことを大変うれしく思います。これもご家庭並びに地域の皆様のご指導と見守りのおかげであり、心から感謝申し上げます。大変ありがとうございます。



さて、2学期のスタートにあたって、子どもたちが充実した2学期を送るために「磨けばやがて光り輝く」という話をしました。

- みんなの中にある大きな可能性を持っているダイヤモンドの原石を自ら磨いて輝かせていこう。
- 何事においても友達と助け合い、励まし合って、自分の持っているすばらしい能力を磨いていこう。
- 自分のダイヤモンドが光り輝き続けるためには、毎日の努力が大切である。
- ライバルと競い合うことや偉人の伝記の伝記を読むことで自分を磨こう。
- 共に輝く2学期になるようがんばろう とエールを送りました。

さらに、2学期は学芸会やマラソン記録会、収穫祭などたくさんの行事があります。多くの行事を通して子どもたちが活躍できる機会がたくさんあります。ぜひこのような活動に積極的に自分から取り組んでほしいと思います。それが、自分を輝かせる絶好の機会となります。今後、ご家庭、学校が協力して子どもたちがめあてを達成するための後押しをしていくこととなります。お子さんを『認め、励まし、ほめる』ことが、めあてに近づける大きな力となります。大いに認め、励まし、ほめてあげてほしいと思います。今学期も全職員が力を合わせて子どもたちの指導・支援に取り組んで参ります。1学期同様にご家庭・地域の皆様の温かなご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。